

過去11年間の環境負荷の実績



2015年は
約360万円の
経費削減

電力は
約48%
ガス・水は
約65%の
削減



社員共育の二環として 「儲かる環境経営」推進

岡山市で、環境コンサルティングおよび環境管理支援を手掛ける株式会社サンキョウエンピックス。2005年にエコアクション21の認証登録をして11年。代表取締役の有松修一さんに、取り組みのきっかけや効果について聞きました。

株式会社
サンキョウエンピックス
代表取締役
ありまつ しゅういち
有松 修一 さん



5Sの推進徹底などで隔々まで整理整頓が行き届いた社屋内



社会貢献活動として、昨年から公民館などで行っている「はいきぶつでアロマを作るう」の様子

「続けてこられた秘訣は？」

2008年のリーマンショックが一つの転機になりました。水道光熱費はもろろん、購入している雑誌類も見直し、机の中に入れたままの鉛筆1本まで無駄にしないよう社員全員が心がけ、コストカット

「社会貢献活動が盛んです。」

環境保全の視点を取り入れた社会貢献活動は方針にそって社員が自由に行っています。保冷材でアロマ

「エコアクション21に 取り組んで良かったこととは？」

社員の意識が変わったのが一番ですね。当社ではエコアクション21を社員共育共に育つ考え方の教育やコストダウン、経営改善…すべてにつなげています。社員が会社をよくするための方策などを積極的に考えるようになり、今では経営指針書を社員の総意でつくり、

「エコアクション21に
取り組まれたきっかけは？」
企業としての体質を改善したいという思いからです。それまでは社員教育が十分でなく、商品の品質にも不安がありました。そこで、2004年に社屋を現在地に移転し、社名も企業理念も刷新。同時に会社づくりの環としてエコアクション21に取り組むことを決めました。

目標はほぼ達成。リーマンショック時は売り上げを3割減らしたものの、赤字を出すことなく危機を乗り越えることができました。やれやれ、今では無駄を省くことが当たり前になっていきます。改善提案が習慣化しているので、パート社員からも提案がありますよ。

を作ったり、子どもが作れるコンボのキット開発をめざしたり。所属する経営社団体を中心として地域や行政等と協力して始めた学童プレハブ16で作戦は「低炭素杯2016」で審査員特別賞をいただきました。ダルマガエル保全活動はすでに10年を超えています。これらの活動は社会貢献であるとともに社員の能力向上にもつながりますし、社業にも活かされていくのではないかと期待しているところです。

そこに書かれたことは経営者も社員も忠実に守ります。2015年度は、約360万円(最高値比較)もの経費削減ができました。社員のコスト意識とエコアクション21の仕組みの相乗効果ですね。ビジネスにとどこまで浸透させるかは経営者次第。仕組みをつくることのできるれば、企業は絶対良くなる。儲かる環境経営と私は言っているんですよ。

株式会社 サンキョウエンピックス
所在地：〒700-0954 岡山市南区米倉66-2
従業員数：30名 認証・登録日：2005年4月27日
「よりよい環境を創造する」を企業ドメインとし、環境の専門家としての技術や企画提案力を持った環境コンサルタントを目指している。

エコアクション21
環境省が策定したガイドラインに基づいて環境経営のためのしくみを構築・運用している事業者を認証し登録する制度です。

エコアクション21地域事務局
岡山県環境保全事業団
〒701-0212 岡山市南区内尾665-1
Tel 086-298-2122 Fax 086-298-2496
Mail ea21@kankyo.or.jp

お問合せ
ください!!

<http://www.kankyo.or.jp>